

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	日本プラパレット株式会社					
代表者名	氏名	木村 聡	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県上田市富士山2412-9					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	32 その他の製造業				
主たる事業の概要	プラスチックパレットの製造、販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	6122	5970	6677	7407	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	12854	12500	14031	15490	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	2		2	2	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	7				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 30 年度
--------	----------

3 計画書（報告書）の公表方法等

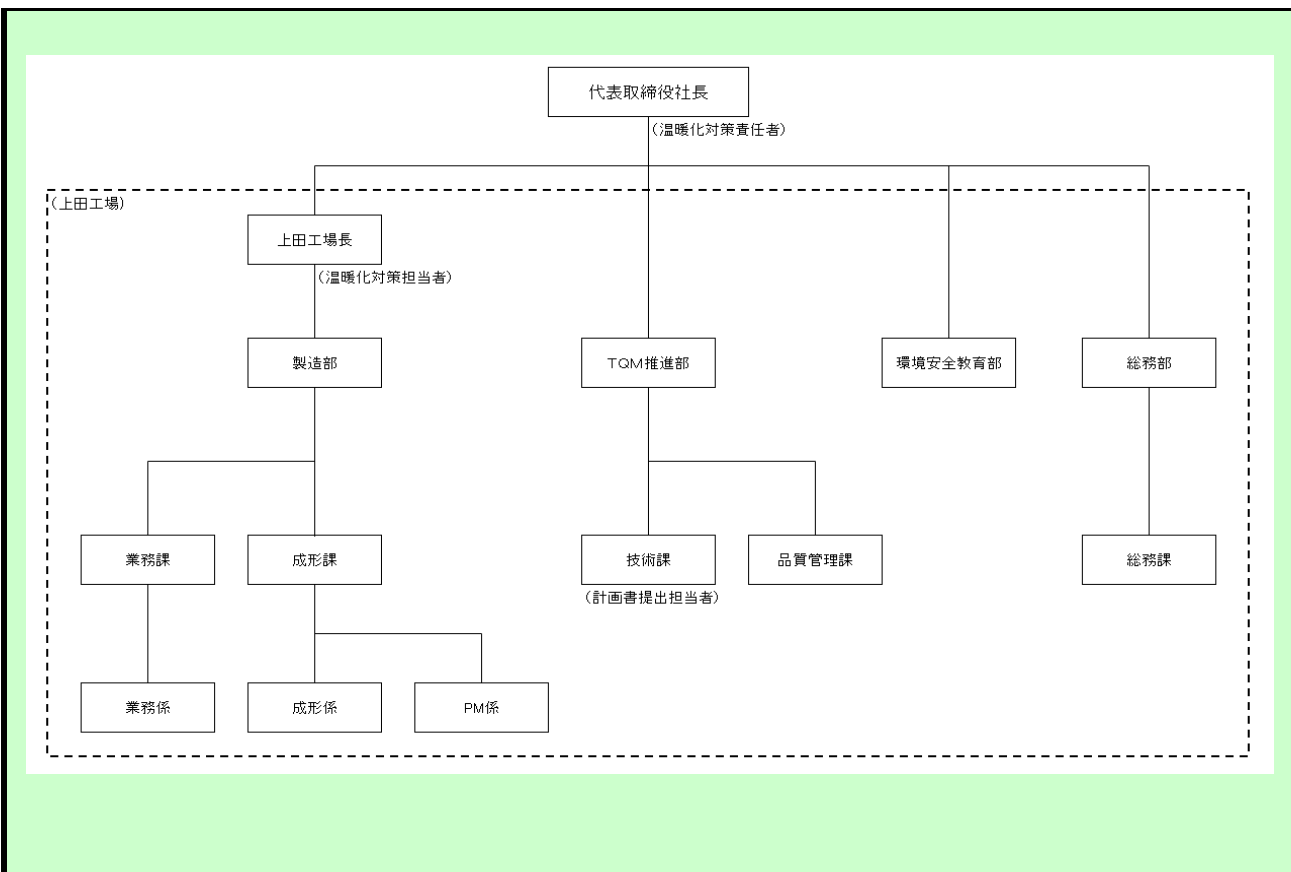
<input type="checkbox"/>	ホームページ	平日AM10:00～16:00、TQM推進部技術課まで 連絡先0268-38-8211
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

省エネルギー、廃棄物等の削減の為、目的、目標を設定し、毎年見直しをして、環境改善を図ります。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

2018年より月1回の会議開催を予定している

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	12,854	t-CO ₂	生産数量	25.50	単位	千t	
28年度	調整後排出量	12,757	t-CO ₂	基準原単位	504.14	t-CO ₂ /	千t	
目標年度	目標排出量	12,500	t-CO ₂	目標原単位	480.70	t-CO ₂ /	千t	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	2.75	%	目標削減率	4.64	%		
目標設定に関する説明	生産数量は基準年度より増産されると見込み26,6千tと設定する。パレット生産数が増加傾向であり、多品種小ロット生産も増加すると予測するが、工程待ちの時間を短縮する事で稼働時間の増は考えられる。排出量は生産効率の良い設備を稼働させる工程組み、無駄のない生産工程をする事でこの目標設定とした。又、平成31年度には新たに電動式成形機の設備投資も決定している事から、更なる原単位削減になると予想する。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	14,031	t-CO ₂	生産数量	27.37	単位	千t	
	調整後排出量	13,899	t-CO ₂	原単位	512.64	t-CO ₂ /	千t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	(9.16)	%	削減率	(1.69)	%		
排出量等の増減理由	プラスチックパレットの受注が旺盛であり、例年になく生産数量が多い。国内、輸出共に好調であるが、特に輸出向け軽量パレットが多い。但し、成形に使用するエネルギーは重量パレットと差が無く、削減率は少ない。							
第二年度	排出量	15,490	t-CO ₂	生産数量	33.92	単位	千t	
	調整後排出量	15,371	t-CO ₂	原単位	456.66	t-CO ₂ /	千t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
30年度	削減率	(20.51)	%	削減率	9.41	%		
排出量等の増減理由	プラスチックパレットの受注が旺盛であり、例年になく生産数量が多い。国内、輸出共に好調であり、生産設備を停止せず、連続稼働した事で効率良い生産が出来た。							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	生産数量		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
31年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	7	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	310500 生産工程のエネルギー管理	30	300		
2	エネ起	その他 高効率設備 (電動式成形機導入)	30	50		
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	KW	634	0	634	634	

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	97		132	119	
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	12,854	1	14,031	1	15,490		
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	12,854	1	14,031	1	15,490		

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	
CH ₄	0	0	0	
N ₂ O	0	0	0	
HFC	0	0	0	
PFC	0	0	0	
SF ₆	0	0	0	
NF ₃	0	0	0	
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	2	2	2	
合計	2	2	2	0
自動車総数	2	2	2	
次世代車導入割合	100	100	100	

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	100%
公共交通機関の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した製品の開発 廃棄物の廃棄量削減
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の廃棄量削減
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の廃棄量削減
第三年度実績	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO ₂)
基準年度以前の取組み	無し	
その他	特になし	